学力向上への取り組み

○全国学力調査結果からの課題○

国語・・・「記述式」問題について、資料や設題を読み取ってそれに対する説明や　考えを文章で表わす力に課題。

算数・・・情報を取捨選択し、判断したことを言葉で記述する点に課題。

■大阪府学力調査結果からの課題■

国語・・・「書く力」の向上を目指した取り組みの成果が表れているが「短答式」で答える問題などに課題が残る。

算数・・・グラフや表から必要な情報を読み取り、処理する力や図形処理の力に課題が残る。

学　校

【学習形態の工夫】

・算数の授業については、できるだけ複数の教員で指導できるよう教員を配置する。

・児童の実態や学習内容に合わせて習熟度別指導、少人数指導、ＴＴ等学習形態を工夫する。

【基礎・基本の定着】

・「北小タイム」（毎日８時４０分～８時５０分）を利用して、計算や音読・漢字等に取り組み国語と算数の基礎・基本の定着を図る。

・放課後学習を実施し、自分の課題に合った学習を学習支援チューターとともに行い、基礎学力をつけるとともに、学習の習慣化を図る。

【授業改善の取り組み】

・研修部が中心になって研究授業等を計画し校内研修の充実を図る。

・「伝え合う力を育てる」をメインテーマに、「書く力」の向上をめざして低、中、高学年部会に分かれ部会毎に取り組みを交流したり、授業を見合ったりして研究、実践、反省を重ねていく。

・問題解決的な学習過程による授業づくりを推進していく。

・講師を招いて、テーマに沿った研修を行い授業力の向上を図る。

【読書活動の推進】

・「読書タイム」（毎週水・木）を朝の時間を利用して実施する。

・「おすすめ本」を紹介するなど、積極的な読書活動を推進する。

・毎月一回昼休みの時間を利用し、ボランティアの方による読み聞かせを実施し、読書活動の充実を図る。

【家庭との連携】

・「早ね、早起き、朝ごはん」を推進し、家庭と連携をとりながら、一日のスタートから学習意欲の高い児童の育成を目指す。

・家庭学習を習慣化させるため、宿題等の工夫をする。

・総会や懇談会等を通して保護者に対し、学力と基本的な生活習慣との関わりについての理解を図る。

家　庭